Pioneer

RMX-1000用エディティング ソフトウェア

remixbox

ご相談窓口のご案内

お取り扱いにお困りのとき、RMX-1000取扱説明書の巻末をご覧ください。

http://pioneerdj.com/support/

上記の弊社ホームページでは、困ったときのよくある質問やソフトウェアの情報など、より快適に製品をお使いいただくための各種情報やサービスを提供しております。

取扱説明書

もくじ

本書の見かた

本書では、製品本体に表示されているチャンネル名、ボタン名、およびソフトウェア上のメニュー名などを、[ ] で囲んで記載しています。(例: [**MASTER**] チャンネル、[**ON**/**OFF**]、[**File**] メニュー)

01 はじめに

カスタマイズパラメーターデータを RMX-1000 本体に書き込む 3
カスタマイズパラメーターデータを SD メモリーカードに書き込む 3

02 各部の名前とはたらき

RMX-1000 本体にカスタマイズパラメーターデータを書き込む (Sync) 5
RMX-1000 本体に書き込まれたカスタマイズパラメーターデータを読み込む (Update Setting) 5
SD メモリーカードにカスタマイズパラメーターデータおよびサンプリング音源を書き込む (Export) 5
SD メモリーカードからカスタマイズパラメーターデータおよびサンプリング音源を読み込む (Import) 6
カスタマイズパラメーターデータおよびサンプリング音源を管理する 6

03 エフェクトを編集する

SCENE FX セクション 7
ISOLATE FX セクション 8
X-PAD FX セクション 9
RELEASE FX セクション 10
SAMPLER を編集する 11

04 エフェクトパラメーターの変更範囲

SCENE FX 12
ISOLATE FX 13
X-PAD FX 14
RELEASE FX 14

05 その他

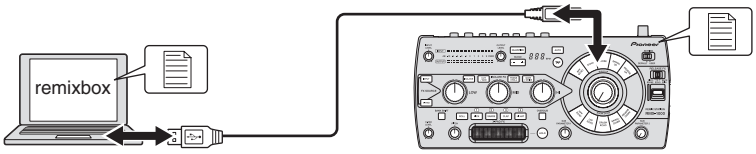
メニュー項目一覧 15
商標および登録商標について 15
著作権についてのご注意 15
サポートサイトのご利用について 16

はじめに

remixbox は、RMX-1000 のエフェクトの各種パラメーターを変更して、お客様のお好みの「カスタマイズパラメーターデータ」を作成するための編集用ソフトウェアです。カスタマイズパラメーターデータの作成には、コンピュータを使います。
また remixbox では、[**X-PAD FX**] ボタンにロードするためのサンプリング音源を SD メモリーカードに保存することもできます。
- RMX-1000 本体とコンピュータを接続するときは、USB ハブを使わずに付属の USB ケーブルで直接接続してください。

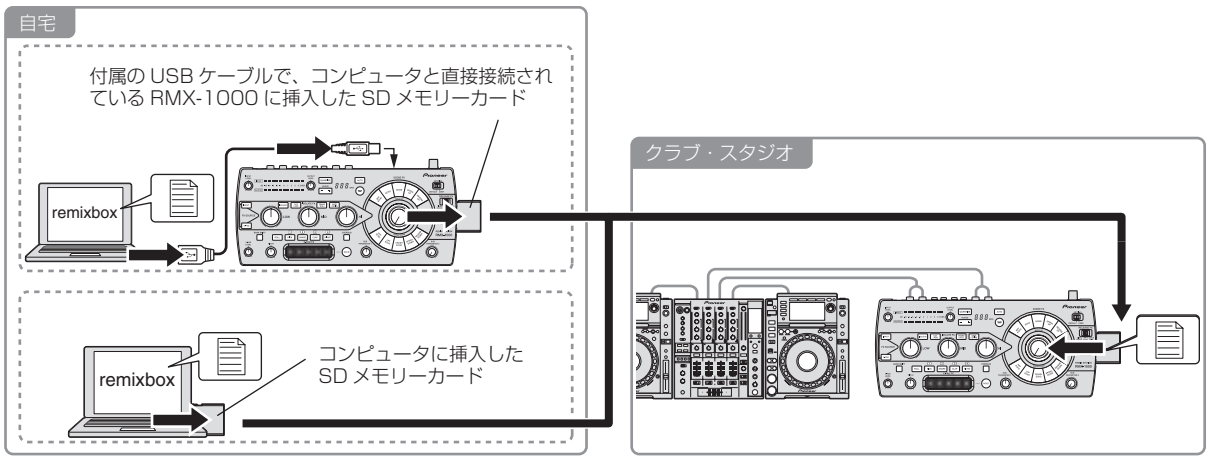
カスタマイズパラメーターデータを RMX-1000 本体に書き込む

remixbox で作成したカスタマイズパラメーターデータは、RMX-1000 本体に書き込むことができます。
カスタマイズパラメーターデータを書き込むときは、コンピュータと RMX-1000 本体を USB ケーブルで直接接続してください。
カスタマイズパラメーターデータが書き込まれた RMX-1000 をクラブに持ち込むことで、お好みの設定で、より個性的な DJ パフォーマンスをすることができます。
また、RMX-1000 本体に書き込んだカスタマイズパラメーターデータは、remixbox で読み込むこともできます。



カスタマイズパラメーターデータを SD メモリーカードに書き込む

remixbox で作成したカスタマイズパラメーターデータは、SD メモリーカードに書き込むことができます。
カスタマイズパラメーターデータが書き込まれた SD メモリーカードを、RMX-1000 が設置されているクラブに持ち込むことで、お好みの設定をいつでも読み込むことができます。
また、SD メモリーカードに書き込んだカスタマイズパラメーターデータは、remixbox で読み込むこともできます。
SD メモリーカードには、[**X-PAD FX**] ボタンにロードするためのサンプリング音源を書き込むこともできます。



各部の名前とはたらき

1 メニュー項目
メニューを表示します。

2 Sync ボタン
remixbox で設定したカスタマイズパラメーターデータを RMX-1000 本体に書き込みます。
- [**Sync**] ボタンは、コンピュータと RMX-1000 本体を USB ケーブルで接続しているときだけ使えます。
- サンプリング音源は書き込まれません。

3 Import ボタン
[**Export**] ボタンを使って SD メモリーカードに書き込まれたカスタマイズパラメーターデータおよびサンプリング音源を読み込みます。
コンピュータまたは RMX-1000 本体に挿入された SD メモリーカードから、カスタマイズパラメーターデータおよびサンプリング音源を remixbox に読み込むことができます。

4 Export ボタン
コンピュータまたは RMX-1000 本体に挿入された SD メモリーカードに、カスタマイズパラメーターデータおよびサンプリング音源を書き込みます。
- SD メモリーカードにはロック機構が備わっています。SD メモリーカードを使うときは必ずロックを解除してください。

5 Load ボタン
[**Save**] ボタンによって保存された RSD ファイルを開き、カスタマイズパラメーターデータを読み込みます。
RSD ファイルが保存されている場所にサンプリング音源のフォルダがあるときは、サンプリング音源も読み込みます。
- RSD ファイルは remixbox 専用のファイル形式です。
- RSD ファイルには、カスタマイズパラメーターデータと、サンプリング音源用の WAV ファイルのファイルパスおよび再生開始 / 終了位置の情報が含まれています。

6 Save ボタン
指定した場所に RSD ファイルを保存します。
サンプリング音源をサンプラースロットにアサインしているときは、同時にサンプリング音源を保存します。

7 Effect Browser ボタン
エフェクトブラウザを表示する / 表示しないを切り換えます。
エフェクトブラウザは、設定できるエフェクトの項目をクリックすると、クリックした項目のエフェクトパラメーター編集画面を即座に開くことができます。

8 Settings ボタン
remixbox の環境設定画面を開きます。
remixbox 起動時の環境設定を変更できます。

9 ラインブラウザ
現在編集中の階層を表示します。

10 エフェクトセレクトエリア
パラメーターを編集したいエフェクトの上にマウスを乗せると、そのエフェクトセクションが浮き出ます。
クリックするとエフェクトセクションが選ばれ、パラメーター設定画面が表示されます。
パラメーター設定画面に現在のパラメーター値が表示されます。
- SCENE FX セクション (7ページ)
- ISOLATE FX セクション (8ページ)
- X-PAD FX セクション (9ページ)
- RELEASE FX セクション (10ページ)

RMX-1000 本体にカスタマイズパラメーターデータを書き込む (Sync)

RMX-1000 本体に remixbox で作成したカスタマイズパラメーターデータを書き込みます。

1 RMX-1000 本体とコンピュータを USB ケーブルで接続し、remixbox を起動する

- RMX-1000 本体とコンピュータが USB 接続されていないときは [**Sync**] ボタンは使えません。

2 remixbox でカスタマイズパラメーターデータを作成する

3 [Sync] ボタンをクリックする

RMX-1000 本体にカスタマイズパラメーターデータが書き込まれます。
書き込みが終わると RMX-1000 本体の BPM 表示部に [**Syc**] が表示されます。
RMX-1000 本体の [**SETTING**] 切換スイッチを [**USER**] 側に切り換えると、書き込んだカスタマイズパラメーターデータを確認できます。

RMX-1000 本体に書き込まれたカスタマイズパラメーターデータを読み込む (Update Setting)

RMX-1000 本体に書き込まれているカスタマイズパラメーターデータを remixbox に読み込みます。

1 RMX-1000 本体とコンピュータを USB ケーブルで接続し、remixbox を起動する

2 remixbox のメニュー項目から [Edit] > [Update Setting] をクリックする

RMX-1000 本体に書き込まれているカスタマイズパラメーターデータが remixbox に読み込まれます。

- 工場出荷時の RMX-1000 本体には、[**DEFAULT**] モードと [**USER**] モードに同じパラメーターが書き込まれています。

SD メモリーカードにカスタマイズパラメーターデータおよびサンプリング音源を書き込む (Export)

SD メモリーカードに remixbox で作成したカスタマイズパラメーターデータおよびサンプリング音源を書き込みます。

1 コンピュータと USB 接続されている RMX-1000 本体に、SD メモリーカードを挿入する

- コンピュータに SD メモリーカードスロットが用意されているときは、コンピュータのスロットに挿入することもできます。

2 remixbox でカスタマイズパラメーターデータおよびサンプリング音源を作成する

3 [Export] ボタンをクリックする

[**Export**] ウィンドウが開きます。

4 SD メモリーカードに書き込むデータの種類を選ぶ

5 SD メモリーカードが挿入されているドライブを選ぶ

6 [OK] ボタンをクリックする

SD メモリーカードを RMX-1000 本体に挿入し、RMX-1000 本体の [**SETTING**] 切換スイッチを [**USER**] 側に切り換えると、SD メモリーカードに書き込んだカスタマイズパラメーターデータを確認できます。

- サンプリング音源は、[**SETTING**] 切換スイッチを [**DEFAULT**] 側または [**USER**] 側どちらに設定していても使うことができます。
- RMX-1000 本体に挿入された SD メモリーカード内のサンプリング音源を RMX-1000 本体の X-PAD FX セクションで再生するときは、RMX-1000 本体とコンピュータを接続している USB ケーブルを取り外してください。

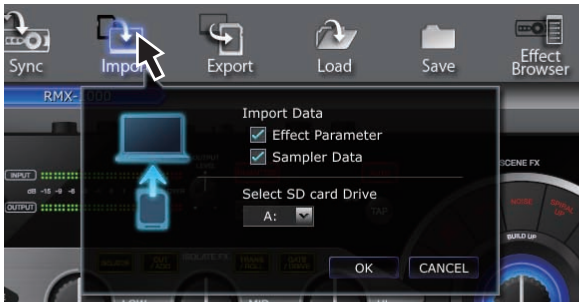
SD メモリーカードからカスタマイズパラメーターデータおよびサンプリング音源を読み込む (Import)

SD メモリーカードに書き込まれているカスタマイズパラメーターデータおよびサンプリング音源を remixbox に読み込みます。

1 コンピュータと USB 接続されている RMX-1000 本体に、カスタマイズパラメーターデータおよびサンプリング音源が書き込まれている SD メモリーカードを挿入する

- コンピュータに SD メモリーカードスロットが用意されているときは、コンピュータのスロットに挿入することもできます。

2 [Import] ボタンをクリックする



[**Import**] ウィンドウが開きます。

3 SD メモリーカードに読み込むデータの種類を選ぶ

4 SD メモリーカードが挿入されているドライブを選ぶ

5 [OK] ボタンをクリックする

SD メモリーカードに書き込まれているカスタマイズパラメーターデータおよびサンプリング音源が remixbox に読み込まれます。

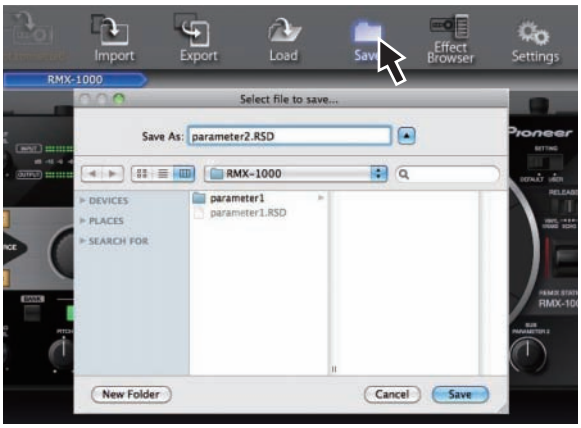
カスタマイズパラメーターデータおよびサンプリング音源を管理する

複数のカスタマイズパラメータデータおよびサンプリング音源を RSD ファイルとしてコンピュータ上で管理することができます。

RSD ファイルを保存する (Save)

1 remixbox でカスタマイズパラメーターデータおよびサンプリング音源を作成する

2 [Save] ボタンをクリックする



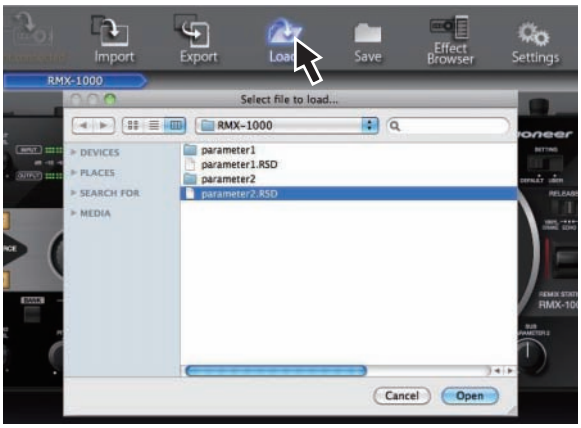
— Windows のとき：Explorer が開きます。
— Mac OS X のとき：Finder が開きます。

3 RSD ファイルを保存する場所を選び、任意のファイル名を付け保存する

- [**Save**] ボタンをクリックして SD メモリーカードに保存された RSD ファイルは、RMX-1000 本体で読み込むことができません。このときは [**Load**] ボタンを使って remixbox に RSD ファイルを読み込んでから、[**Sync**] ボタンを使って RMX-1000 本体に書き込むか、[**Export**] ボタンを使って SD メモリーカードに書き込んでください。

RSD ファイルを読み込む (Load)

1 [Load] ボタンをクリックする



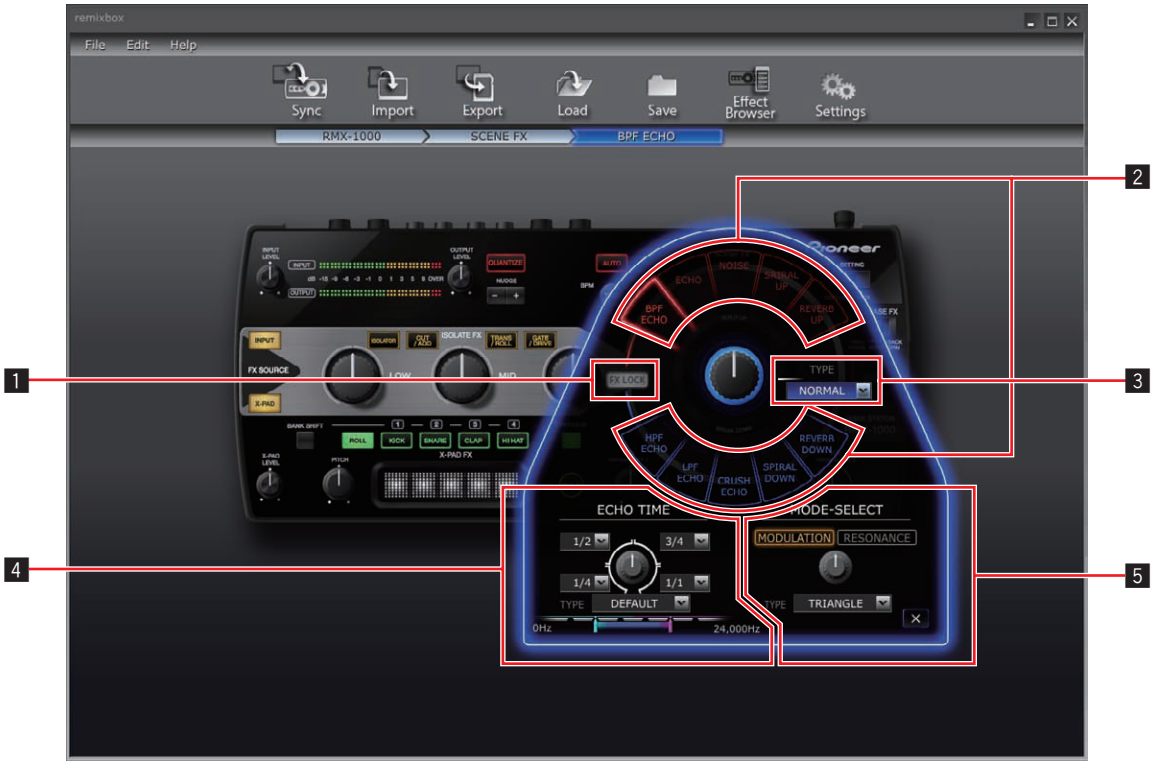
— Windows のとき：Explorer が開きます。
— Mac OS X のとき：Finder が開きます。

2 RSD ファイルを選んで開く

RSD ファイルに書き込まれているカスタマイズパラメーターデータおよびサンプリング音源が remixbox に読み込まれます。

エフェクトを編集する

SCENE FX セクション



- 画面に表示される内容は、エフェクトの種類によって異なります。

1 FX LOCK ボタン
エフェクト種類選択ボタンの誤動作防止機能を使う / 使わないを切り換えます。

2 エフェクト種類選択ボタン
編集するエフェクトの種類を選びます。

3 SCENE FX ツマミセクション
[**SCENE FX**] ツマミのパラメーターを調整します。

4 SUB PARAMETER 1 ツマミセクション
[**SUB PARAMETER 1**] ツマミのパラメーターを調整します。

5 SUB PARAMETER 2 ツマミセクション
[**SUB PARAMETER 2**] ツマミのパラメーターを調整します。

パラメーターを編集する

1 エフェクト種類選択ボタンのいずれかをクリックする

編集したいエフェクトの種類を選びます。

2 プルダウンなどを操作して設定値を選ぶ

エフェクトのパラメーターを変更します。

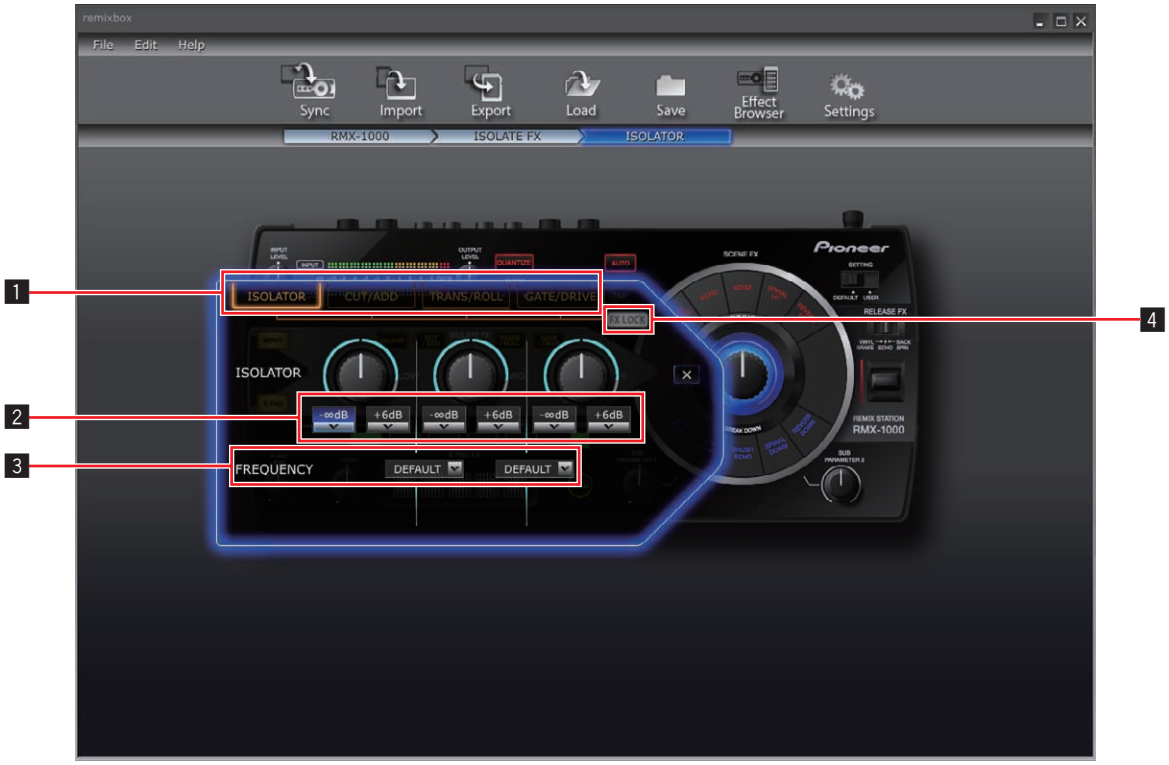
- パラメーターの変更範囲について詳しくは、12ページの「エフェクトパラメーターの変更範囲」の「SCENE FX」をご覧ください。

エフェクト種類選択ボタンの誤動作防止機能を使う

[FX LOCK] ボタンをクリックする

[**FX LOCK**] ボタンが点灯します。
誤動作防止機能が有効なときは、RMX-1000 本体のエフェクト種類選択ボタンを押し続けることでエフェクトがオン / オフされます。

ISOLATE FX セクション



- 画面に表示される内容は、エフェクトの種類によって異なります。

1 エフェクト種類選択ボタン
編集するエフェクトの種類を選びます。

2 ISOLATE FX ツマミプルダウン
各ツマミのパラメーターを調整します。

3 FREQUENCY プルダウン
[**LOW**] ツマミと [**MID**] ツマミ、および [**MID**] ツマミと [**HI**] ツマミの間の周波数を選びます。

4 FX LOCK ボタン
エフェクト種類選択ボタンの誤動作防止機能を使う / 使わないを切り換えます。

パラメーターを編集する

1 エフェクト種類選択ボタンのいずれかをクリックする
編集したいエフェクトの種類を選びます。

2 プルダウンなどを操作して設定値を選ぶ
エフェクトのパラメーターを変更します。

- パラメーターの変更範囲について詳しくは、13ページの「エフェクトパラメーターの変更範囲」の「ISOLATE FX」をご覧ください。

エフェクト種類選択ボタンの誤動作防止機能を使う

[FX LOCK] ボタンをクリックする
[**FX LOCK**] ボタンが点灯します。
誤動作防止機能が有効なときは、RMX-1000 本体のエフェクト種類選択ボタンを押し続けることでエフェクトがオン / オフされます。

X-PAD FX セクション

- 画面に表示される内容は、項目の種類によって異なります。

1 パラメーター表示部
パラメーターを編集するための内容が表示されます。

2 項目選択ボタン
編集する項目を選びます。
- [**SAMPLER**] の編集の仕方について詳しくは、11ページ の「SAMPLER を編集する」をご覧ください。

パラメーターを編集する

1 項目選択ボタンのいずれかをクリックする
編集したい項目を選びます。

2 プルダウンなどを操作して設定値を選ぶ
項目のパラメーターを変更します。

- パラメーターの変更範囲について詳しくは、14ページの「エフェクトパラメーターの変更範囲」の「X-PAD FX」をご覧ください。

RELEASE FX セクション

1 エフェクト種類選択ボタン
編集するエフェクトの種類を選びます。

2 エフェクトセクションプルダウン
RELEASE FX をオフしたとき (レバーを元の位置に戻したとき)、SCENE FX/ISOLATE FX/X-PAD FXの効果を持続させるかどうかを個別に選びます。

3 RELEASE FX レバープルダウン
レバーを引いたときのパラメーターを調整します。

パラメーターを編集する

1 エフェクト種類選択ボタンのいずれかをクリックする

編集したいエフェクトの種類を選びます。

2 プルダウンなどを操作して設定値を選ぶ

エフェクトのパラメーターを変更します。

- パラメーターの変更範囲について詳しくは、14ページの「エフェクトパラメーターの変更範囲」の「RELEASE FX」をご覧ください。

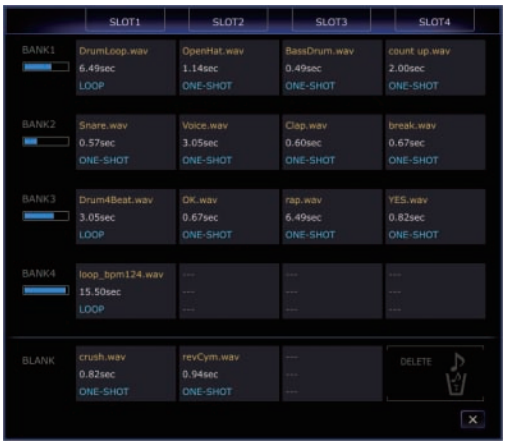
SAMPLER を編集する

RMX-1000 本体の [**X-PAD FX**] ボタンにロードするサンプリング音源を編集することができます。
あらかじめ WAV ファイル形式のサンプリング音源を用意してください。

- rekordbox Version 1.5.3 以降を利用すると、手軽にサンプリング音源を用意することができます。
  詳しくは、rekordbox の操作説明書をご覧ください。

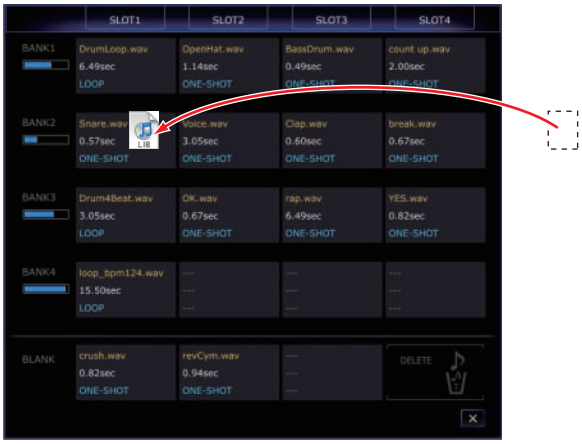
1 X-PAD FX セクションのパラメーター設定画面を開いて [SAMPLER] ボタンをクリックする

サンプラースロット画面を開きます。



2 サンプリング音源をサンプラースロットにドラッグする

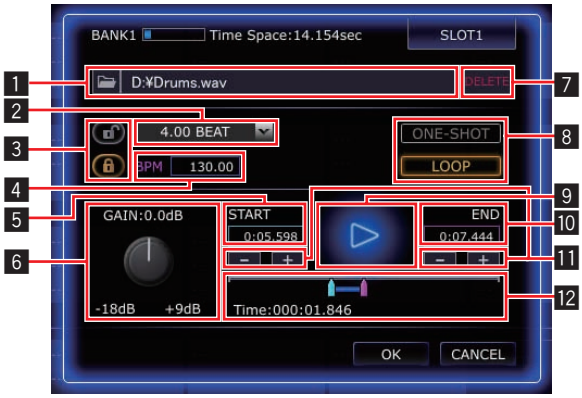
Mac をお使いのときは Finder、Windows をお使いのときは Explorer を開いて、サンプリング音源をサンプラースロットにアサインします。



- サンプリング音源を [**DELETE**] にドラッグすると、サンプラースロットからサンプリング音源を削除することができます。
- サンプラースロット詳細ウィンドウを使って、サンプリング音源をサンプラースロットにアサインすることもできます。
- 1BANK(4 SLOT の合計) に設定できる音源は、最大 16 秒までです。

サンプラースロット詳細ウィンドウについて

サンプラースロットをダブルクリックするとサンプラー詳細ウィンドウが開きます。
サンプラースロット詳細ウィンドウでは、サンプリング音源を試聴したり、再生範囲や再生モードの設定を変更できます。



1 エディットボックス
サンプリング音源をコンピュータから読み込むとき、サンプリング音源のファイルパスを指定します。

2 ビート選択ボックス
サンプリング音源のビート (拍数) を選びます。

- 選択ボックスに拍数を直接入力することもできます。

3 ビート FIX ボタン、BPM FIX ボタン
ビート選択ボックスまたは BPM 入力ボックスに設定された値を固定します。固定された値を基準にしてビート、BPM、または [**END**] の値を自動計算することができます。

- ビート FIX ボタン、BPM FIX ボタンは、両方同時にアクティブにすることはできません。

4 BPM 入力ボックス
サンプリング音源の BPM 値を設定します。

- 有効な BPM 値は 40 以上 999.99 以下です。

5 START
サンプリング音源の再生開始位置の時間を表示します。

6 GAIN ツマミ
サンプリング音源の音量を調節します。

7 DELETE ボタン
サンプラースロットにアサインされているサンプリング音源を削除します。

8 再生モード切換ボタン
サンプリング音源の再生モードを切り換えます。

— [**ONE-SHOT**] モード : サンプリング音源を最後まで再生すると停止します。
— [**LOOP**] モード : サンプリング音源を最後まで再生すると最初に戻り再生を続けます。
各 BANK の [**SLOT1**] だけ [**LOOP**] モードに対応しています。
[**LOOP**] モードに切り換えるときは、あらかじめ BPM 値が入力されている必要があります。

9 ▶ ボタン
サンプリング音源を再生します。コンピュータで選択されているオーディオデバイスからサンプリング音源が出力されます。

10 END
サンプリング音源の再生終了位置の時間を表示します。

11 –, + ボタン
サンプリング音源の再生範囲を 10 msec（100 分の 1 秒) 単位で増減します。

12 スライダー
サンプリング音源の再生開始位置および再生終了位置を大幅に変更するときに使います。

エフェクトパラメーターの変更範囲

SCENE FX

エフェクトの種類	場所	位置	形状	変更できるパラメーター	変更できる範囲
HPF ECHO **BPF ECHO** **LPF ECHO**	メインツマミ	右	プルダウン	フィルターの通過域の幅	**NARROW**、**NORMAL**、**WIDE**
	SUB PARAMETER 1 ツマミ	左下	プルダウン	範囲 1 のエコータイムの拍	**1/16**、**1/8**、**1/4**、**1/2**、**3/4**、**1/1**、**2/1**
		左上	プルダウン	範囲 2 のエコータイムの拍	**1/16**、**1/8**、**1/4**、**1/2**、**3/4**、**1/1**、**2/1**
		右上	プルダウン	範囲 3 のエコータイムの拍	**1/16**、**1/8**、**1/4**、**1/2**、**3/4**、**1/1**、**2/1**
		右下	プルダウン	範囲 4 のエコータイムの拍	**1/16**、**1/8**、**1/4**、**1/2**、**3/4**、**1/1**、**2/1**
		下	プルダウン	フィードバックの量	**MILD**、**DEFAULT**、**WILD**
		下	スライダー× 2	エコーがかかる帯域	**LOW**、**DEFAULT**、**HI**(スライダーごとに設定できます。)
	SUB PARAMETER 2 ツマミ	上	ボタン	[**SUB PARAMETER 2**] の種類	**MODULATION**、**RESONANCE**
		下	プルダウン	[**SUB PARAMETER 2**] の波形 / 効果	**TRIANGLE**、**SAW**、**SQUARE**、**RANDOM**、**SIDE-CHAIN**(**MODULATION** を選んでいるとき) **DEFAULT**、**MILD**、**NONE**(**RESONANCE** を選んでいるとき)
NOISE	メインツマミ	右	プルダウン	フィルターの通過域の幅	**MILD**、**DEFAULT**、**WILD**
	SUB PARAMETER 1 ツマミ	左下	スライダー	ノイズの音量の最小値	**－∞ dB**、**－ 18 dB**、**－ 12 dB**、**－ 6 dB**、**－ 3 dB**、**0 dB**、**＋ 3 dB**、**＋ 6 dB**
		右下	スライダー	ノイズの音量の最大値	**－ 18 dB**、**－ 12 dB**、**－ 6 dB**、**－ 3 dB**、**0 dB**、**＋ 3 dB**、**＋ 6 dB**、**＋ 9 dB**
	SUB PARAMETER 2 ツマミ	上	ボタン	[**SUB PARAMETER 2**] の種類	**MODULATION**、**RESONANCE**
		下	プルダウン	[**SUB PARAMETER 2**] の波形 / 効果	**TRIANGLE**、**SAW**、**SQUARE**、**RANDOM**、**SIDE-CHAIN**(**MODULATION** を選んでいるとき) **DEFAULT**、**MILD**、**NONE**(**RESONANCE** を選んでいるとき)
SPIRAL UP **SPIRAL DOWN**	メインツマミ	右	プルダウン	SPIRAL のディレイタイム	**MILD**、**DEFAULT**、**WILD**
	SUB PARAMETER 1 ツマミ	左下	プルダウン	範囲 1 のエコータイムの拍	**1/16**、**1/8**、**1/4**、**1/2**、**3/4**、**1/1**、**2/1**
		左上	プルダウン	範囲 2 のエコータイムの拍	**1/16**、**1/8**、**1/4**、**1/2**、**3/4**、**1/1**、**2/1**
		右上	プルダウン	範囲 3 のエコータイムの拍	**1/16**、**1/8**、**1/4**、**1/2**、**3/4**、**1/1**、**2/1**
		右下	プルダウン	範囲 4 のエコータイムの拍	**1/16**、**1/8**、**1/4**、**1/2**、**3/4**、**1/1**、**2/1**
	SUB PARAMETER 2 ツマミ	下	プルダウン	ピッチの変化の種類	**LINEAR**、**KEY**
REVERB UP **REVERB DOWN**	メインツマミ	右	プルダウン	ルームサイズ	**LARGE**、**SMALL**
	SUB PARAMETER 1 ツマミ	下	プルダウン	残響時間	**SHORT**、**DEFAULT**、**LONG**
	SUB PARAMETER 2 ツマミ	下	プルダウン	フィルターの種類	**LOW PASS FILTER**、**BAND PASS FILTER**、**HIGH PASS FILTER**
ECHO	メインツマミ	右	プルダウン	エコーのフィードバックの量	**HOLD**、**DJM**
	SUB PARAMETER 1 ツマミ	左下	プルダウン	範囲 1 のエコータイムの拍	**1/16**、**1/8**、**1/4**、**1/2**、**3/4**、**1/1**、**2/1**、**4/1**、**8/1**
		左上	プルダウン	範囲 2 のエコータイムの拍	**1/16**、**1/8**、**1/4**、**1/2**、**3/4**、**1/1**、**2/1**、**4/1**、**8/1**
		右上	プルダウン	範囲 3 のエコータイムの拍	**1/16**、**1/8**、**1/4**、**1/2**、**3/4**、**1/1**、**2/1**、**4/1**、**8/1**
		右下	プルダウン	範囲 4 のエコータイムの拍	**1/16**、**1/8**、**1/4**、**1/2**、**3/4**、**1/1**、**2/1**、**4/1**、**8/1**
	SUB PARAMETER 2 ツマミ	下	プルダウン	フィルターの種類	**NARROW**、**NORMAL**、**WIDE**
CRUSH ECHO	メインツマミ	右	プルダウン	エフェクトの深さ (DEPTH)	**MILD**、**DEFAULT**、**WILD**
	SUB PARAMETER 1 ツマミ	左下	プルダウン	範囲 1 のエコータイムの拍	**1/16**、**1/8**、**1/4**、**1/2**、**3/4**、**1/1**、**2/1**
		左上	プルダウン	範囲 2 のエコータイムの拍	**1/16**、**1/8**、**1/4**、**1/2**、**3/4**、**1/1**、**2/1**
		右上	プルダウン	範囲 3 のエコータイムの拍	**1/16**、**1/8**、**1/4**、**1/2**、**3/4**、**1/1**、**2/1**
		右下	プルダウン	範囲 4 のエコータイムの拍	**1/16**、**1/8**、**1/4**、**1/2**、**3/4**、**1/1**、**2/1**
		下	プルダウン	フィードバックの量	**MILD**、**DEFAULT**、**WILD**
	SUB PARAMETER 2 ツマミ	下	プルダウン	モジュレーションの種類	**TRIANGLE**、**SAW**、**SQUARE**、**RANDOM**、**SIDE-CHAIN**

ISOLATE FX

エフェクトの種類	場所	位置	形状	変更できるパラメーター	変更できる範囲
ISOLATOR	LOW ツマミ	左下	プルダウン	ゲインの最小値	− 6 dB、− 12 dB、− 18 dB、−∞ dB
		右下	プルダウン	ゲインの最大値	0 dB、＋ 3 dB、＋ 6 dB、＋ 9 dB
		[LOW] ツマミと [MID] ツマミの間	プルダウン	[LOW] ツマミと [MID] ツマミの間の周波数	LOW、DEFAULT、HI
	MID ツマミ	左下	プルダウン	ゲインの最小値	− 6 dB、− 12 dB、− 18 dB、−∞ dB
		右下	プルダウン	ゲインの最大値	0 dB、＋ 3 dB、＋ 6 dB、＋ 9 dB
		[MID] ツマミと [HI] ツマミの間	プルダウン	[MID] ツマミと [HI] ツマミの間の周波数	LOW、DEFAULT、HI
	HI ツマミ	左下	プルダウン	ゲインの最小値	− 6 dB、− 12 dB、− 18 dB、−∞ dB
		右下	プルダウン	ゲインの最大値	0 dB、＋ 3 dB、＋ 6 dB、＋ 9 dB
CUT/ADD	LOW ツマミ	左下	プルダウン	バスドラムの音声を削る量	MILD、DEFAULT、WILD
		右下	プルダウン	マルチタップディレイのパターン	PATTERN1、PATTERN2、PATTERN3
	MID ツマミ	左下	プルダウン	ハイパスフィルターのレゾナンス	OFF、ON
		右下	プルダウン	マルチタップディレイのパターン	PATTERN1、PATTERN2、PATTERN3
	HI ツマミ	左下	プルダウン	ローパスフィルターのレゾナンス	OFF、ON
		右下	プルダウン	マルチタップディレイのパターン	PATTERN1、PATTERN2、PATTERN3
TRANS/ROLL	LOW ツマミ	左下	プルダウン	TRANS の LFO のパターン	PATTERN1、PATTERN2、PATTERN3
		右下	プルダウン	ROLL の拍数のパターン	PATTERN1、PATTERN2、PATTERN3
		[LOW] ツマミと [MID] ツマミの間	プルダウン	[LOW] ツマミと [MID] ツマミの間の周波数	LOW、DEFAULT、HI
	MID ツマミ	左下	プルダウン	TRANS の LFO のパターン	PATTERN1、PATTERN2、PATTERN3
		右下	プルダウン	ROLL の拍数のパターン	PATTERN1、PATTERN2、PATTERN3
		[MID] ツマミと [HI] ツマミの間	プルダウン	[MID] ツマミと [HI] ツマミの間の周波数	LOW、DEFAULT、HI
	HI ツマミ	左下	プルダウン	TRANS の LFO のパターン	PATTERN1、PATTERN2、PATTERN3
		右下	プルダウン	ROLL の拍数のパターン	PATTERN1、PATTERN2、PATTERN3
GATE/DRIVE	LOW ツマミ	左下	プルダウン	GATE の深さ	MILD、DEFAULT、WILD
		右下	プルダウン	DRIVE の深さ	MILD、DEFAULT、WILD
	MID ツマミ	左下	プルダウン	GATE の深さ	MILD、DEFAULT、WILD
		右下	プルダウン	DRIVE の深さ	MILD、DEFAULT、WILD
	HI ツマミ	左下	プルダウン	GATE の深さ	MILD、DEFAULT、WILD
		右下	プルダウン	DRIVE の深さ	MILD、DEFAULT、WILD

X-PAD FX

項目選択ボタン	設定項目 1	設定項目 2	変更する内容	変更できる範囲
ROLL	−	−	[**ROLL**] ボタンの機能	**ROLL**、**SLIP ROLL**、**DIVIDE ROLL**
OSC	**KICK**	**GAIN**	ゲイン	**− 3 dB**、**− 2 dB**、**− 1 dB**、**0 dB**、**＋ 1 dB** **＋ 2 dB**、**＋ 3 dB**
		DECAY	ディケイタイム	**SHORT**、**DEFAULT**、**LONG**
		ENVELOPE	エンベロープの形状	**TYPE1**、**TYPE2**
	SNARE	**GAIN**	ゲイン	**− 3 dB**、**− 2 dB**、**− 1 dB**、**0 dB**、**＋ 1 dB** **＋ 2 dB**、**＋ 3 dB**
		DECAY	ディケイタイム	**SHORT**、**DEFAULT**、**LONG**
		ENVELOPE	エンベロープの形状	**TYPE1**、**TYPE2**
	CLAP	**GAIN**	ゲイン	**− 3 dB**、**− 2 dB**、**− 1 dB**、**0 dB**、**＋ 1 dB** **＋ 2 dB**、**＋ 3 dB**
		DECAY	ディケイタイム	**SHORT**、**DEFAULT**、**LONG**
		ENVELOPE	エンベロープの形状	**TYPE1**、**TYPE2**
	HI HAT	**GAIN**	ゲイン	**− 3 dB**、**− 2 dB**、**− 1 dB**、**0 dB**、**＋ 1 dB** **＋ 2 dB**、**＋ 3 dB**
		DECAY	ディケイタイム	**SHORT**、**DEFAULT**、**LONG**
		ENVELOPE	エンベロープの形状	**TYPE1**、**TYPE2**
SAMPLER[1]	−	−	−	−
PITCH	スライダー (左)	−	マイナス方向のピッチベンド幅	**− 1 SEMITONE** 〜 **− 12 SEMITONE**
	スライダー (右)	−	プラス方向のピッチベンド幅	**＋ 1 SEMITONE** 〜 **＋ 12 SEMITONE**
X-PAD	−	−	[**X-PAD**] に割り当てる拍数の配置[2]	**1/2**、**2/3**、**3/4**、**1/1**、**3/2**、**2/1**、**4/1**、**8/1**、**1/32**、**1/24**、**1/16**、**1/12**、**1/8**、**1/6**、**1/4**、**1/3**

1 [**SAMPLER**] の編集の仕方について詳しくは、11ページ の「SAMPLER を編集する」をご覧ください。
2 [**X-PAD**] に割り当てたい拍数を、変更できる範囲から選んで [**X-PAD**] にドラックアンドドロップしてください。

RELEASE FX

エフェクトの種類	場所	位置	形状	変更できるパラメーター	変更できる範囲
VINYL BRAKE	**RELEASE FX** レバー	下 (上段)	プルダウン	範囲 1 の拍	**1/4**、**1/2**、**3/4**、**1/1**、**2/1**、**4/1**、**8/1**、**12/1**、**16/1**
		下 (中段)	プルダウン	範囲 2 の拍	**1/4**、**1/2**、**3/4**、**1/1**、**2/1**、**4/1**、**8/1**、**12/1**、**16/1**
		下 (下段)	プルダウン	範囲 3 の拍	**1/4**、**1/2**、**3/4**、**1/1**、**2/1**、**4/1**、**8/1**、**12/1**、**16/1**
	ISOLATE FX	中央	プルダウン	RELEASE FX をオフしたとき ISOLATE FX を持続するかどうかを選びます。	**OFF**、**ON**
	SCENE FX	中央	プルダウン	RELEASE FX をオフしたとき SCENE FX を持続するかどうかを選びます。	**OFF**、**ON**
	X-PAD FX	中央	プルダウン	RELEASE FX をオフしたとき X-PAD FX を持続するかどうかを選びます。	**OFF**、**ON**
BACK SPIN	**RELEASE FX** レバー	下 (上段)	プルダウン	範囲 1 の拍	**1/2**、**3/4**、**1/1**、**2/1**、**4/1**、**8/1**、**12/1**、**16/1**、**32/1**
		下 (中段)	プルダウン	範囲 2 の拍	**1/2**、**3/4**、**1/1**、**2/1**、**4/1**、**8/1**、**12/1**、**16/1**、**32/1**
		下 (下段)	プルダウン	範囲 2 の拍	**1/2**、**3/4**、**1/1**、**2/1**、**4/1**、**8/1**、**12/1**、**16/1**、**32/1**
	ISOLATE FX	中央	プルダウン	RELEASE FX をオフしたとき ISOLATE FX を持続するかどうかを選びます。	**OFF**、**ON**
	SCENE FX	中央	プルダウン	RELEASE FX をオフしたとき SCENE FX を持続するかどうかを選びます。	**OFF**、**ON**
	X-PAD FX	中央	プルダウン	RELEASE FX をオフしたとき X-PAD FX を持続するかどうかを選びます。	**OFF**、**ON**
ECHO	**RELEASE FX** レバー	上	プルダウン	エコーのフィードバック量	**HOLD**、**DJM**
		下 (上段)	プルダウン	範囲 1 の拍	**1/16**、**1/8**、**1/4**、**1/2**、**3/4**、**1/1**、**2/1**、**4/1**、**8/1**
		下 (中段)	プルダウン	範囲 2 の拍	**1/16**、**1/8**、**1/4**、**1/2**、**3/4**、**1/1**
		下 (下段)	プルダウン	範囲 3 の拍	**1/16**、**1/8**、**1/4**、**1/2**、**3/4**、**1/1**
	ISOLATE FX	中央	プルダウン	RELEASE FX をオフしたとき ISOLATE FX を持続するかどうかを選びます。	**OFF**、**ON**
	SCENE FX	中央	プルダウン	RELEASE FX をオフしたとき SCENE FX を持続するかどうかを選びます。	**OFF**、**ON**
	X-PAD FX	中央	プルダウン	RELEASE FX をオフしたとき X-PAD FX を持続するかどうかを選びます。	**OFF**、**ON**

その他

メニュー項目一覧

メニュー項目			説明
File	Load		[**Load**] ボタンと同じ働きをします。
	Save		[**Save**] ボタンと同じ働きをします。
	Settings		[**Settings**] ボタンと同じ働きをします。
	Quit		remixbox を終了します。
Edit	Undo		直前のパラメーター変更を元に戻します。
	Redo		[**Undo**] で元に戻したパラメーターを、再度同じパラメーターに変更します。
	Sync		[**Sync**] ボタンと同じ働きをします。
	Import		[**Import**] ボタンと同じ働きをします。
	Export		[**Export**] ボタンと同じ働きをします。
	Update Setting		RMX-1000 本体に書き込まれたカスタマイズパラメーターデータを読み込みます。
	Effect Browser		[**Effect Browser**] ボタンと同じ働きをします。
	Load Default Settings		工場出荷時のパラメーターデータを読み込みます。サンプリング音源の設定は変更されません。
	Launch rekordbox		コンピュータにインストールされている rekordbox を起動します。
Help	Version		remixbox およびコンピュータに接続されている RMX-1000 本体のバージョン情報を表示します。
	Manual	English	remixbox の取扱説明書 (英語) を開きます。
		Français	remixbox の取扱説明書 (フランス語) を開きます。
		Deutsch	remixbox の取扱説明書 (ドイツ語) を開きます。
		Español	remixbox の取扱説明書 (スペイン語) を開きます。
		Italiano	remixbox の取扱説明書 (イタリア語) を開きます。
		Nederlands	remixbox の取扱説明書 (オランダ語) を開きます。
		Русский	remixbox の取扱説明書 (ロシア語) を開きます。
		Português	remixbox の取扱説明書 (ポルトガル語) を開きます。
		简体中文	remixbox の取扱説明書 (中国語簡体字) を開きます。
		繁體中文	remixbox の取扱説明書 (中国語繁体字) を開きます。
		한국어	remixbox の取扱説明書 (韓国語) を開きます。
		日本語	remixbox の取扱説明書 (日本語) を開きます。

商標および登録商標について

- Pioneer はパイオニア株式会社の登録商標です。
- Microsoft®、Windows Vista®、Windows®、Internet Explorer® は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Apple、Macintosh、Mac OS、Safari、iTunes、および Finder は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- Intel および Pentium は、米国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。

その他記載されている会社名および製品名等は、各社の登録商標または商標です。

本製品は非営利的使用のためのみにライセンスされております。営利的目的での（収益の発生するような）、実際の放送（地上波放送･衛星放送・有線放送・あるいは他のメディアを利用した放送）、インターネットやイントラネット（企業内ネット）あるいは他のネットワークを利用した放送・ストリーミング、またその他の電子的情報を提供するシステム（音楽の有料配信など）のためにはライセンスされておりません。このような使用には個別にライセンスを取得する必要があります。詳しくは http://www.mp3licensing.com をご参照ください。

著作権についてのご注意

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

- CD などから録音される音楽は、各国の著作権法ならびに国際条約で保護されています。また、録音した者自身が、それを合法的に使用する上でのすべての責任を負います。
- インターネットなどからダウンロードされる音楽を取り扱う際は、ダウンロードした者自身が、ダウンロードサイトとの契約に則ってそれを使用する上でのすべての責任を負います。

サポートサイトのご利用について

remixboxの操作方法や技術的な質問をお問い合わせいただく前に、remixboxの取扱説明書をお読みください。また、パイオニアDJグローバルサイトに掲載されているRMX-1000のFAQをご確認ください。

＜パイオニアDJグローバルサイト＞
http://pioneerdj.com/support/

- パイオニアグループでは、以下の使用目的のためにお客様の個人情報を収集させていただいております。
  1 お買い上げいただいた商品のアフターサービスをご提供させていただくため
  2 商品に関する重要な情報やイベント情報を電子メールでお客様にお知らせするため
  3 お客様よりアンケートを収集させていただき、調査結果を商品企画に反映するため
  — お客様から収集する個人情報は当社が定める個人情報保護方針に則って厳重に管理いたします。
  — 当社の個人情報保護方針は、パイオニアDJグローバルサイトでご覧いただけます。
- remixboxについてのお問い合わせの際には、お客様のコンピュータの機種名およびスペックの詳細(CPU・メモリー搭載量・接続している周辺機器など)・オペレーティングシステムのバージョン・具体的な不具合の症状を必ずご連絡ください。
  — コンピュータや周辺機器など、当社の取り扱い製品以外の組み合わせや技術的な質問については、各メーカーまたは販売代理店へご確認ください。
- サポートサイトからアップデートプログラムをダウンロードできます。是非ともこのアップデートを行っていただき、常に最新バージョンをお使いいただきますようお願い申し上げます。

©2012 パイオニア株式会社
禁無断転載
パイオニア株式会社
〒212-0031 神奈川県川崎市幸区新小倉1番1号
<DRQ1001-B-JA>